

数学科

1 年 【140時間】

月	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
目 標 ・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。 ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉えようとする態度を養う。		
4	正の数・負の数 ・正の数・負の数	【知技】 正の数・負の数の意味を理解する。 【知技】 正の数・負の数の計算の方法を理解する。
5	・正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の利用	【知技】 正の数・負の数を用いて、具体的な事象を表したり処理したりすることができる。 【思判表】 数を求める方法を考察し表現することができる。 【思判表】 正の数・負の数を活用して考察し表現することができる。 【主】 正の数と負の数の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
6	文字の式 ・文字を使った式 ・文字式の計算	【知技】 言葉や記号の意味を理解している。 【知技】 簡単な計算をすることができる。 【思判表】 計算の方法や法則を日常の生活の場面と関連づけて考察し表現することができる。 【主】 文字を用いることの必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
7	方程式 ・方程式 ・方程式の利用	【知技】 方程式に出てくる事項の意味を理解している。 【知技】 事象のなかの数量やその関係に着目して式をつくり、解くことができる。 【思判表】 式を解く方法を考察し表現することができる。 【思判表】 式を具体的な場面で活用することができる。
9		【主】 一元一次方程式の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
10	変化と対応 ・関数 ・比例 ・反比例	【知技】 関数関係、比例、座標の意味を理解している。 【知技】 表やグラフ、式で表すことができる。 【思判表】 変化や対応の特徴を考察し表現することができる。 【主】 比例、反比例の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
11	・比例と反比例の利用	
12	平面図形 ・直線と図形 ・移動と作図 ・円とおうぎ形	【知技】 記号や移動、図形の意味を理解している。 【知技】 作図の道具を正しく使い、基本的な作図ができる。 【知技】 長さや面積の求め方を理解し、求めることができる。 【思判表】 図形の性質や関係を見だし、表現することができる。 【思判表】 長さや面積、角度の求め方について考察し、表現することができる。 【主】 平面図形の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
1	空間図形 ・立体と空間図形 ・立体の体積と表面積	【知技】 立体の意味や空間の位置関係を理解している。 【思判表】 立体の性質やその特徴について考察し表現することができる。 【主】 空間図形の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
2		
3	データの活用 ・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率	【知技】 語句の必要性和意味を理解している。 【思判表】 データを読み取り、考察し表現することができる。 【主】 学んだことの必要性和意味を考え、生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとし、多面的に捉え考えようとしている。